

電波時計（報時付掛時計）取扱説明書

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して正しい時刻に自動修正
- 毎正時にメロディを奏でます
- 暗くなると秒針と報時が自動停止します

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品の使用または現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

発売元 リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

お問い合わせ先 お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

お問い合わせの際は、製品番号（型番）「4MN463-A」をお伝えください。

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。





(Y1103)

安全にお使いいただくために（はじめにお読みください）


ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。


■表示の説明について


表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています（表示の一例です）。
表示内容が無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

	「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。		してはいけない「禁止」内容です。
	「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。		必ず実行していただく「強制」内容です。

■誤飲による事故防止について

 小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。
分解禁止

 本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。
注意

■使用場所について

- 下記のような場所では使わないでください。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。
- 温度が+50℃以上になる所。たとえば、長時間直射日光のあたる所や暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下の所では、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
- 浴室など湿気が多い所。
- ほこりが多く発生する所。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質することがあります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 電池を取り外してください。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃*結露しないこと	電波受信機能	標準電波受信による時刻修正
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度	受信局	福島局/九州局 自動選択
	秒針 ±1秒	受信ON/OFF	あり
	時分針 目盛りに対して±3度	受信回数	最少 1日1回 最多 1日12回
	標準電波を受信しない場合	受信開始時刻	受信状態により受信回数は変化
	平均月差 ±20秒（常温中のクォーツ精度）	受信成功から	72時間以内のとき
報時精度	表示時刻に対して±1秒		1～3回/日 2～4時の16分40秒に受信開始
使用電池	単1形マンガン乾電池		72時間を越えて受信に失敗
	JIS規格 R20P 4個		12回/日 奇数時の16分40秒に受信開始
電池寿命	約1年 標準電波の受信に成功し、報時を首量最大で17回/日行ったとき		
報時機能	毎正時にメロディを奏でる	●マンガン乾電池の代わりに、アルカリ乾電池を使用することができま	すが、マンガン乾電池と混ぜて使用しないでください。
	ON/OFFスイッチ切り替え		
	自動鳴り止め 明暗センサーと連動して暗所停止	●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。	
	メロディ2群 18曲 スイッチ切り替え方式		
	音量調節 ロータリー式ボリューム		
	モーター ボタン操作		
	動き 回転飾り		
暗所秒針停止	明暗センサーと連動して12時位置に停止		
電池交換時期	秒針が12時位置に常時停止		
お知らせ機能			
振り子	装飾用 常時動きます		
付属品			
単1形マンガン乾電池	4個	木ねじ	1個 取扱説明書 本書 保証書 1枚

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波（JJY）は、日本標準時（JST）をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。（http://jijy.nict.go.jp）

標準電波の送信停止について

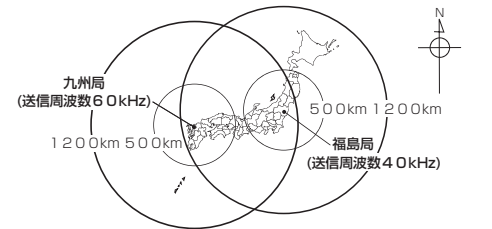
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でのご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害（太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼/夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。

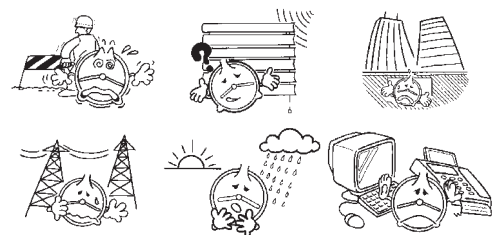


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



電池のご注意（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手が届かない所に置く。


電池の種類について


- 本製品は電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。Ⓜアルカリとマンガン乾電池の混在使用は液もれの原因となりますのでおやめください。
- 一般に充電池の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。（例：Panasonic オキシライド乾電池）

取り扱いについて

- 電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、次のことをお守りください。
- 電池に傷をつけたり、分解しない。
 - 電池をショートさせない。
 - 電池を充電しない。
 - 時計を使用しないときは電池を取り外す。
 - 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
 - 加熱したり、火の中に入れてたりしないでください。

液もれが起きてしまったとき

 電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

 もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買った置き電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

電池の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。

蓄光塗料について

- 使用している蓄光塗料は、紫外線を含んだ光（例 蛍光灯）により励起され、光を蓄え、発光します。白熱電球などは紫外線が少ないため光源としては適していません。
- 消灯直後は、明るく発光しますが時間とともに暗くなります。
- 装飾目的ですので、時刻の判読は短い時間で出来なくなります。

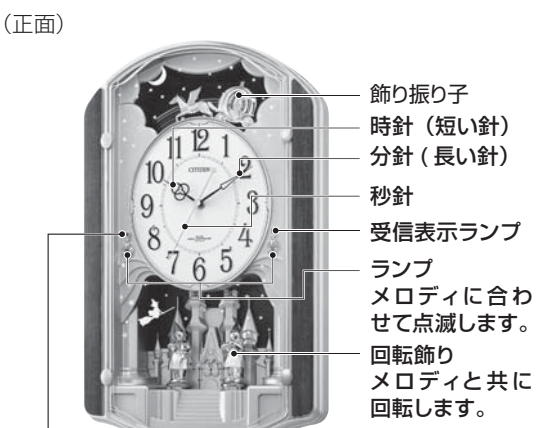
静電気の影響について

静電気の影響により、時計が正常に機能しなくなることがあります。このようなときには、強制受信ボタンを押してください。

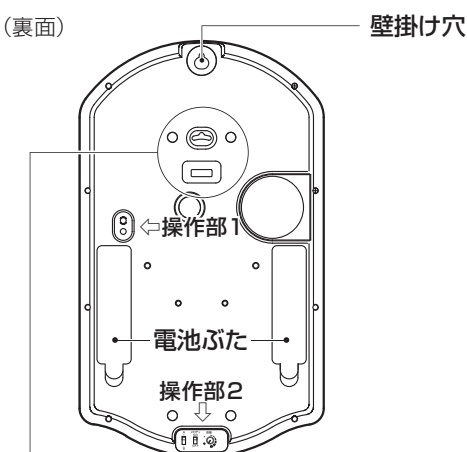
この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。

本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。

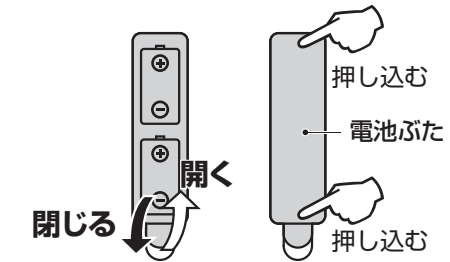
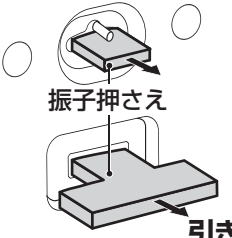


④ モニターボタン
メロディを試聴するときを押す。



振り子押さえを取る

ご使用になるときは必ず取り外してください。輸送するときは、振動や衝撃から保護するため、必ず取り付けてください。



② 電池を入れる
① 2つの電池ふたを引っ張って取り外す。
② 左右の電池ホルダーに2個ずつ入れる。
③ 電池ふたを載せて押し込む。

〈操作部1〉

時刻合わせボタン
手動で時刻を合わせるときに使用します。不注意に押すと時刻が変わることがあります

強制受信ボタン
電池を入れたときや設置場所を変えたときに押します。

〈操作部2〉

③ 選択スイッチ 曲群の切り替え
A メロディ ON 音量
OFF 音量

④ メロディスイッチ
ON : 報時する
OFF : 報時しない

⑤ ボリューム
Ω : 小さくなる
Ω : 大きくなる

針の動き……通常の時刻表示
時計針・分針: 10秒に1回転します。
秒針 : 滑らかな1秒ステップで動きます。
※自動受信により、時刻を修正するときは早送り移動したり、停止することがあります。

明暗センサーのはたらき

明暗センサーが暗いと判別した場合
▶ 受信表示ランプの消灯 ▶ 秒針を12時位置で停止 ▶ 報時の停止
昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが動きます。十分に明るい所で秒針が12時位置で停止している場合は、電池の交換が必要であることを表しています。

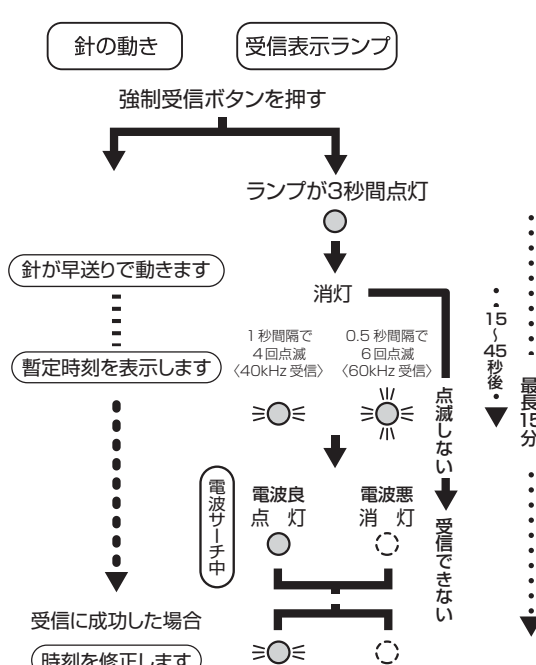
電池の交換時期お知らせ機能

電池の残量が少なくなると、秒針が明るい所でも12時位置で停止します。時計針と分針は動きますが、受信機能や報時機能は停止します。お知らせ状態になってから、時計針と分針が停止するまでの期間は約1ヵ月ですが、ご使用状態により短くなることがあります。放置すると電池からの液もれの原因になりますので、速やかに新品の電池を交換してください。

◆ 電池の交換 早めに交換して液もれを防ぎましょう

注意 電池からの液もれにより、時計の修理や壁面の修繕などに、費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。
● 時計が停止したときは、速やかに新しい電池に交換するか、電池を取り出す。
● 時計が動いていても、1年に1回定期的に交換する。
● 古い電池と新しい電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混ぜて使用しない。
● 電池の⊕を逆に入れない。

標準電波—受信の流れとサーチ機能の使いかた



電波サーチ機能は、受信表示ランプの点灯または消灯により、時計がある場所の電波状態をお知らせします。

サーチ機能を使用するときの手順

- 窓際やベランダなど電波の受信しやすい場所に時計を移動させます。
- 強制受信ボタンを押します。受信表示ランプが約3秒間点灯後に受信を開始。針は早送りで移動し、暫定の時刻を表示します。
- 受信局を表示後、受信表示ランプが点灯したら、設置したい場所に時計を移動します。点灯しないときは、場所を変えて②からやり直してください。
- 電波状態を確認します。
点灯: 電波良好→受信できる可能性大
消灯: 受信できない→時計を移動させてください。
○点灯と消灯が繰り返されるときは、電波が弱く、受信に失敗する可能性があります。
○電波サーチ中に、時計の向きや位置を変えると受信表示ランプの状態が変化します。
- 受信結果を表示します。
受信成功: 2秒に1回点滅
受信失敗: 消灯

- 受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えて強制受信ボタンを押してください。
- 受信に失敗している場合は、表示されている時刻は正しくありません。
- 受信表示ランプは、受信に成功すると最長で24時間表示を続けます。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして、一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで、取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせ使用する
ベランダなど屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

受信できない場合は、下記の操作で時刻を合わせることでご利用になれます。

手動での時刻合わせ…電波を受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。
※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。
※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。
☞ **電波受信機能のON/OFF操作** 参照。
時刻合わせボタンを押すと針が動き始めます。
○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。
○時刻合わせボタンを押し続けると早送りで動きます。このとき秒針は停止します。
秒針の動きについて
秒は、時刻合わせボタンを離したとき、“0秒”に設定されています。
秒針が12時位置に停止しているときは、すぐに動き出し、他の所に停止しているときは、秒針が指している時刻になると動き出します。

使用方法 電池を入れて、標準電波を受信して時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、**〈手動での時刻合わせ〉**を参照してください。

- 窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。
- ① ボリュームを左に回して音量を最小にする
操作をしているときに、メロディが大きな音で鳴らないようにします。
- ② 電池ホルダーの⊕表示に合わせて、電池を4個入れる
※電池の⊕を逆に入れると、電池の液もれ・発熱・破裂の原因となります。
※電池を入れたときに、メロディが鳴ることがあります。
- ③ 強制受信ボタンを押す **〈標準電波-受信の流れとサーチ機能の使いかた〉** 参照
受信表示ランプが3秒間点灯して受信を開始します。針は早送りで移動して、暫定的な時刻を表示します。
※電池を入れた後は、必ず強制受信ボタンを押してください。
※受信中はボタン操作をしないでください。
- ④ 振り子押さえを取る
必ず取り外してください。取り外さないと電池寿命が短くなります。
- ⑤ **〈時計の掛けかた〉**に従って時計を確実に掛ける
- ⑥ 受信開始から15分後に受信結果を確認する
受信表示ランプが2秒に1回点灯していれば、受信に成功し、正しい時刻を表示します。消灯している場合は、受信に失敗していますので、電波サーチ機能で受信する所を探すか、**〈標準電波を受信できない場合〉**を参照してください。

■ 報時の設定

報時は、毎正時にメロディを1曲奏でます。曲は、毎正時に切り替わります。

④ **メロディスイッチ**
ON : 毎正時にメロディを1曲奏でます。
OFF : 報時しません。
※メロディスイッチをONに設定しても、明暗センサーにより暗くなると自動的に報時をしなくなります。→ **〈明暗センサーのはたらき〉** 参照

⑤ **選択スイッチ**
曲は、2つのグループに分かれていますので、AまたはBを選択してください。

⑥ **ボリューム (音量の調節)**
モニターボタンを押すとメロディが鳴りますので、その間にボリュームを回し、調節してください。

⑦ **モニター (メロディの試聴)**
モニターボタンを押すと、メロディを1曲奏でます。メロディが鳴っているときにモニターボタンを押すと、次のメロディに切り替わります。
○選択スイッチで設定されたグループのメロディを奏でます。
○次の正時には、再生の順番が1つ進みます。
※曲名は時計本体に表示してあります。
※時刻ごとにメロディは固定されていません。
※時刻合わせボタンを操作して正時、たとえば10時にしても報時をしません。

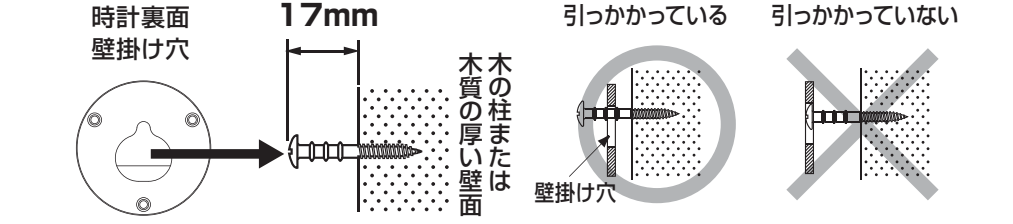
時計の掛けかた

掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 注意 ○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
- 強制 ○ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

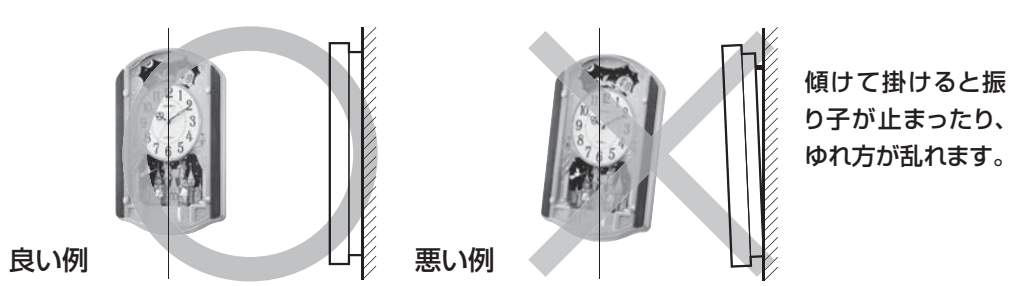
- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



その他の壁面の場合

- 石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

時計を垂直に掛けてください



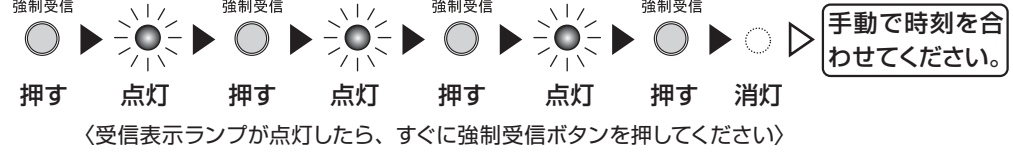
標準電波受信機能のON/OFF操作

誤受信しやすい所で使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときは、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

■ 電波受信機能をOFFにするには (停止するには)

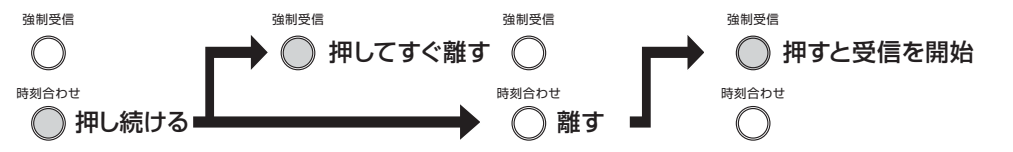
図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。

※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。



■ 電波受信機能をONにするには (開始するには)

工場出荷時の設定は、電波受信機能はONになっています。時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。



ご注意
※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。
※電池を取り出しても設定を長い時間保持していますので、電波受信機能をOFFからONにするには、必ず上記の操作をしてください。